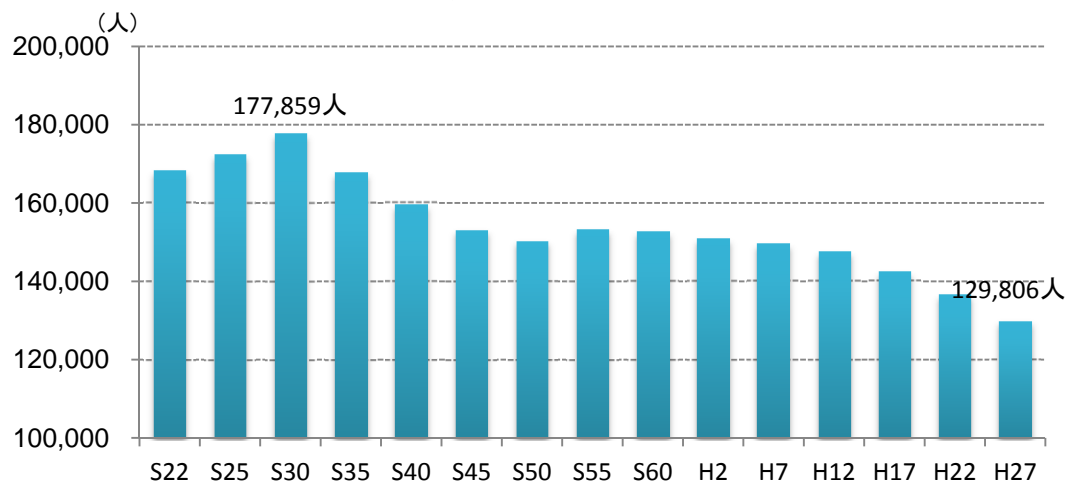


# 鶴岡市人口ビジョン(概要版)

資料1

## 1 人口の現状分析 ①

### 【総人口の推移】

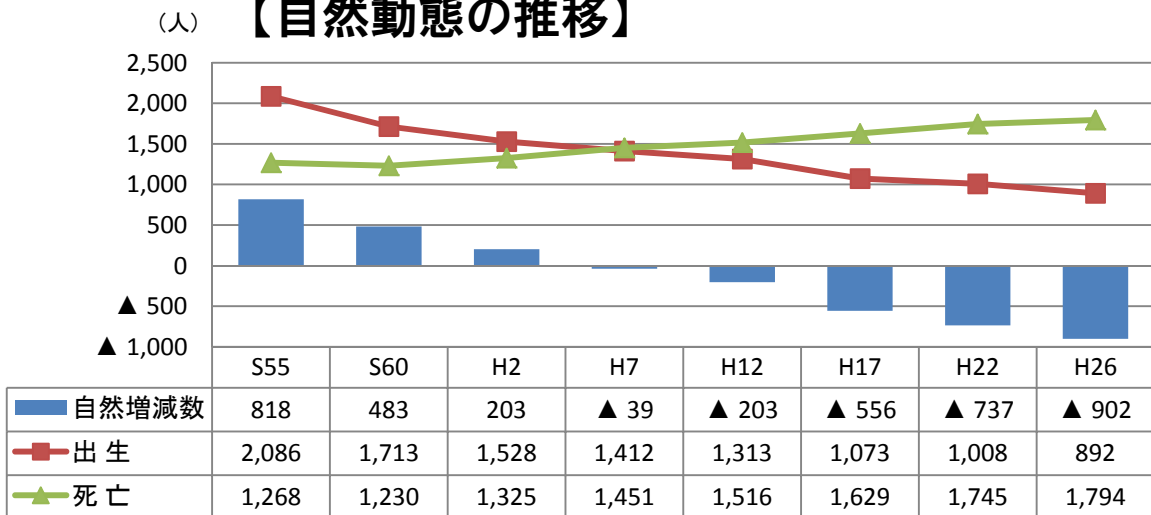


人口減少の継続

昭和30年が増加のピークとなって以降、昭和55年に一旦回復に至るまで減少が進行し、以降も現在に至るまで人口減少が継続している状況にある。

出典)国勢調査等

### 【自然動態の推移】



出生減による自然減の進行

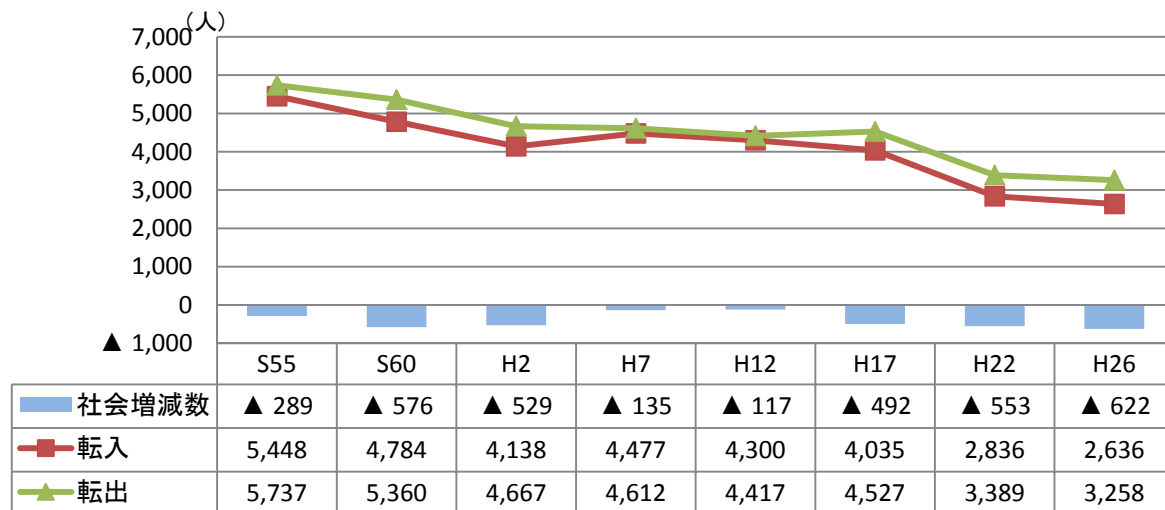
出生数が年々減少して少子化が加速する一方、死亡数は年々増加しており、平成26年時点での自然増減数(出生数-死亡数)は▲902人にもものぼる。

出典)住民基本台帳等

# 鶴岡市人口ビジョン(概要版)

## 1 人口の現状分析 ②

### 【社会動態の推移】

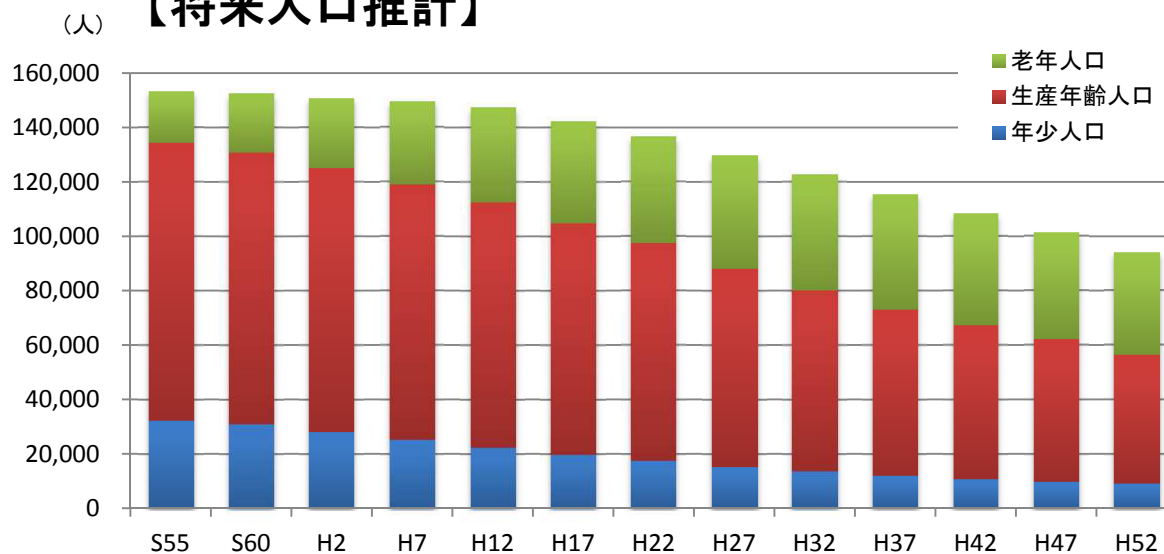


転出超過の拡大

転入者数・転出者数とも以前から減少しているが、平成17年以降は一層転出超過の傾向が強まり、特に若年層の流出過多が顕在化している。

出典)国勢調査等

### 【将来人口推計】



人口減少と少子高齢化の進展

平成27年における推計人口129,806人に対し、平成52年(2040年)における推計人口は94,090人と、現在より約3万6千人・27%減と見込まれており、また、図からも年々老年人口割合の増加するものと見込まれる。

出典)将来人口推計(国立社会保障・人口問題研究所)

# 鶴岡市人口ビジョン(概要版)

## 2 人口減少による将来への影響

- 保育園等子育て施設の減少による  
利便性の低下
- 健康保険・介護保険料の負担増
- 医療・介護従事者の減少に伴う  
サービス水準の低下 等

福祉・社  
会保障の  
低下

- 所得水準の低下及び人口減少に伴う  
税収の減(財政運営の困難化)
- 学校統廃合に伴う通学負担の増
- 空き家等の増加による倒壊  
の危険、及び周辺環境悪化
- 生活路線の減便・廃止化 等

生活環境  
の縮退

経済・産業の  
停滞

- 人口の減少に伴う事業規模の縮小・衰退
- 就業者減による品質・ブランド力の低下
- 雇用環境の悪化による失業者・求職者の増加
- 観光施設管理体制の低下による交流人口の鈍化 等

# 鶴岡市人口ビジョン(概要版)

## 3 目指すべき将来の方向 ①

### 意識調査による声

○平成27年6月に実施した住民意向調査・結果より抜粋  
「鶴岡市の魅力・不満について」

	満足である箇所・魅力 (上位5位)	不満である箇所・問題点 (上位5位)
<b>■子育て世帯</b> (回答595/発送1,076)	①自然が豊か (66.7%) ②助けてくれる人がいる (53.5%) ③治安が良い (32.5%) ④医療環境の充実 (32.0%) ⑤子育て支援の充実 (27.6%)	①子育て費用の負担が高い (45.7%) ②保護者活動の負担が大きい (41.7%) ③子どもの遊び場が少ない (37.0%) ④職場環境が悪い (32.3%) ⑤子育て支援が不十分 (29.1%)
<b>■鶴岡からの転出者</b> (回答180/発送584)	①自然が豊か (78.9%) ②家族・親類・友人がいる (46.1%) ③治安が良い (32.8%) ④歴史・文化が豊か (30.6%) ⑤物価が安い (21.1%)	①冬季の生活が大変 (72.2%) ②労働環境が悪い (28.3%) ③家族・親類・友人がいない (23.9%) ④医療環境が不十分 (13.3%) ⑤買い物が不便 (11.1%)
<b>■鶴岡への転入者</b> (回答193/発送599)	①自然が豊か (68.4%) ②家族・親類・友人がいる (44.0%) ③歴史・文化が豊か (30.6%) ④治安が良い (28.5%) ⑤物価が安い (8.8%)	①冬季の生活が大変 (74.1%) ②労働環境が悪い (28.0%) ③買い物が不便 (18.7%) ④家族・親類・友人がいない (18.1%) ⑤コミュニティが煩わしい (16.6%)

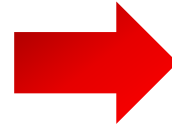
# 鶴岡市人口ビジョン(概要版)

## 3 目指すべき将来の方向 ②

### 目標

### 施策

地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする



- ・活力あふれた強い地域経済を実現
- ・観光振興のための地域の連携体制の強化
- ・農林水産業の成長産業化の推進

地域への新しい人の流れをつくる



- ・地域への移住希望者に対する支援の強化
- ・企業の地方拠点強化策を活用した誘致活動推進
- ・地域高等教育・研究機関の一層の活性化の推進

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



- ・地域の実態に即した少子化対策の推進
- ・結婚・妊娠・出産・子育て支援

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る



- ・コンパクトシティの形成
- ・「小さな拠点」の形成(集落生活圏の維持)
- ・地域医療・介護提供体制の整備等
- ・安全安心な暮らしづくり
- ・ふるさとづくり

# 鶴岡市人口ビジョンにおける「人口の将来展望」算出について

## 1. 鶴岡市の将来人口推計について

### ■国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」)推計値

	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
推計人口	122,729人	108,290人	94,087人	79,984人	67,186人
合計特殊出生率	1.48	1.46	1.46	1.46	1.46

### ■(参考)日本創成会議推計値

	2020年	2030年	2040年
推計人口	121,887人	105,030人	88,132人

## 2. 国及び県の長期ビジョンについて

【合計特殊出生率】 2020年:1.60程度、2030年:1.80程度、2040年:2.07程度  
 【社会増減】 2040年に全国的に均衡すると仮定

## 3. 「人口の将来展望」の検討・試算について

### I. 合計特殊出生率

国・県の長期ビジョン設定値を採用する。

2020年:1.60程度、2030年:1.80程度、2040年:2.07程度として段階的に上昇

### II. 社会増減

各種施策の効果により、純移動率が段階的に上昇するものとして設定する。

#### [設定]

2015年以降の年少人口・生産年齢人口の純移動率が段階的に上昇するとした上で、2045年以降は順次上昇が収束すると仮定する。

